

福祉

わかやま

寄り添い つながる 広報誌

vol.455

10²⁰²⁵月号



この広報誌の発行に
一部共同募金配分金を
利用しています。



赤い羽根共同募金運動スタート
～ささえあう心 和歌山をつなぐ赤い羽根～

今月の表紙

地元高校生による
街頭募金活動

(2～4Pに関連記事)



Facebook



Instagram



社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会



赤い羽根共同募金運動スタート

「ささえあう心 和歌山をつなぐ赤い羽根」

皆様には平素より、「赤い羽根共同募金」に多大なご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

終戦直後の昭和22年に始まった「赤い羽根共同募金運動」は、今年で79回目を迎えます。戦後復興を中心に支援が行われ、その後、社会福祉法に基づき、地域福祉の推進に活用されてきました。それから長い年月が過ぎ、現在は物価高騰等の影響で高齢者の孤立や経済的困窮など、さまざまな課題を抱えている方がたくさんおられます。

社会の変化のなかで、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉の課題解決に向け、募金活動に取り組んでまいりました。

さらに、全国各地で頻発する自然災害への支援や備えとして、皆様からいただいた募金は活用されています。

共同募金が進めてきた人と人とのつながりを大切にする活動が、今後も地域の課題解決にお役に立てるものと考えています。

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動がスタートしました。「ささえあう心 和歌山をつなぐ赤い羽根」に、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人和歌山県共同募金会 会長 大桑弘嗣

共同募金ってどんなことに使われているの？

こどもへの支援



餅つきに挑戦！



クリスマス会で地域交流！



防災頭巾を着けて避難訓練！

地域福祉の支援



パン生地製造機の購入！



小学生による配食ボランティア！



憩いの場でつながり作り！



クイズで共同募金のことを知ってもらおう！



学校での高齢者疑似体験！



移送サービスで通院やお買い物へ！

企業さまの社会貢献活動をお手伝い

職場から赤い羽根の「ささえあう心」をつないでください!!

●事業所や店舗に共同募金の募金箱や、自動販売機を置いて社会貢献をしたい。

●創立記念を機に社会貢献をしたい。
でも、どうしたらよいかわからない…。

そんな時、共同募金を通じて、地域福祉や福祉施設等への支援をご検討ください。

企業さまの社会貢献のご意向をお手伝いします!!

ぜひ共同募金会にご相談ください。

※表彰制度もあります

赤い羽根自販機で地域貢献を

飲み物を購入すると、その売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付される自販機です。他の自販機と同様、費用をかけずに地域貢献ができます。

また、飲み物を購入するだけで気軽に募金ができるので、購入される方も身近な地域福祉に貢献できます。

お預かりした募金は、自販機が設置されている地域の福祉活動に活用されます。



ご遺贈・相続寄付をご検討ください

ご自身の財産や相続された財産を、愛着ある地域の福祉のために活用することができます。

共同募金会は、ご自身の財産や相続財産の寄付のお手伝いをさせていただくとともに、皆様からお預りした貴重な財産を地域の福祉課題解決に活用させていただきます。



かつらぎ町の株式会社辻本組様(写真左)より、赤い羽根共同募金に長年ご寄付をいただいております。今年度も多額のご寄付をいただき、感謝状をお渡ししました。誠にありがとうございます。

(令和7年7月3日)

税制上の優遇措置があります

共同募金会は、税制上、国と地方公共団体と同じように、寄付に対する「優遇措置の対象団体」となっています。

●個人でのご寄付

確定申告することで、所得税の所得控除又は税額控除、住民税控除の対象となります。

●法人でのご寄付

財務省が「指定寄附金」の対象としているため、全額損金算入となります。

インターネットを通じてご寄付できます

従来のクレジットカードや携帯電話決済の他に、令和6年10月1日からは、オンライン寄付の支払方法に「PayPay」を導入し、キャッシュレスで手軽にご寄付いただけるようになりました。



PayPayでご寄付いただけます
※匿名寄付も可能です

「ささえあう心 和歌山をつなぐ赤い羽根」にご協力をお願いします。



お問合せ先 社会福祉法人和歌山県共同募金会
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
TEL073-435-5231 FAX073-435-5232



メール info@akaihane-wakayama.or.jp
HP https://www.akaihane-wakayama.or.jp/



ありがとうメッセージ

赤い羽根共同募金

皆様からのあたたかい募金は、県内の各地でたくさんの方を笑顔にしています。
助成を受けた団体・施設等から届いた「ありがとうメッセージ」をご紹介します。
「ありがとうメッセージ」は赤い羽根データベース「はねっと」に掲載しています。
ぜひご覧ください。



社会福祉法人あおい会 太陽の丘 さま

今まで使用していた送迎用の車両は中古車が多く、施設が山間部にあるため車両の消耗が激しく、新車両の増車を考えていました。



助成をいただき購入した車両は、小回りが利き、車内が広く、乗降がしやすくなりました。そして、なによりも安全性能が優れているので、利用者さんの安全確保と同時に、職員が安心して運転できるようになりました。

ありがとうございました。

社会福祉法人有田つくし福祉会 つくし共同作業所 さま

毎月すべての利用者さんの体重測定を行っています。

今までは市販の体重計を使っており、車いすの利用者さんは職員が抱きかかえて測定をしていました。また、装具をつけた利用者さんには、体重計に数



秒間静止してもらう必要があり、測定が困難でした。車いす用体重計購入後は、測定時の利用者さんのストレスが減り、また、どの職員でもスムーズに体重測定が行えるようになりました。

ありがとうございました。

太地町社協
りょうの しんじ
漁野 真司 さん

「どうすれば相談者と信頼関係を築けるか」を日々考えており、心を開いて話してくれた時は努力が実ったなと感じます。



相談者の
「気持ち」を大切に

not alone

ノット アローン

社協が行う相談支援

Vol.11 太地町社協

～借入相談は相談支援へのひとつの入り口～

社協では、低所得世帯等への、必要な資金の貸付けと相談支援をセットにして、生活福祉資金貸付事業を実施しています。

その最前線で活躍する太地町社会福祉協議会の漁野さんから借入相談を“貸す、貸せないにとどまらせない”相談支援への取組方針を伺いました。

相談に来られる方は困りごとについて整理できておらず、どこに相談をすればいいのかわからない状況です。まず相談者の気持ちに寄り添いながら、困りごとについて何が課題なのか、一緒に整理するようにしています。生活福祉資金の借入相談のために来所した方でも、話を聴くなかで、「就職先が決まらない」「各種年金の申請方法がわからない」等、社協のみでの解決が難しい方もいます。そのような場合には、関係機関との会議を設定し、支援の方針について協議します。例えば就職先の支援では自立相談支援機関と連携を取り、就職先と一緒に探し、各種年金等の申請時は地域包括支援センターやケアマネジャーとともに、書類のつくり方をアドバイスしています。関係機関の担当職員とは顔が見える関係づくりを心掛けており、相談があった場合には、協力しながら、相談者の困りごとの解決に取り組んでいます。

まずは支援者同士の顔が見える関係づくり

太地町の情報

社協の相談体制

2名(兼務)

社協のイチオシ事業

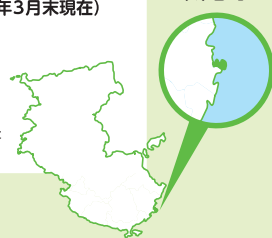
「ふれあいネット」
(小地域ネットワーク活動)

人口(令和7年3月末現在)
2,811人

特産品

鯨
てつめん餅

太地町



小地域ネットワーク活動 「ふれあいネット」



日常の業務や活動を通じて自宅に訪問した際、安否確認や対話を行う中で、困っていることや、緊急なことが起こった時、社会福祉協議会や地域包括支援センターに連絡します。

内容に応じて緊急に対応し、話し合いを持ち、専門分野に結びつけたりします。

相談支援を支える「何かあれば社協へ」

ふれあいネットは在宅の要援護者の孤立化や孤独死を防ぐため、太地町社協から関係団体等に呼びかけを行い、平成18年9月1日から活動を開始しました。現在、警察や金融機関、郵便局など福祉以外の分野を含む25団体と地域住民が協力し、地域の見守りを行っています。参画団体からは「家とは違う方向に歩いていたら」「訪問した時に金銭管理の能力が少し落ちていた」といった、日常の些細な出来事や気づきを連絡いただき、社協は現場に向き合います。「何かあれば社協へ」という地域住民からの連絡のおかげで、相談支援にアウトリーチで、いち早く対応することができています。

大切にしていること

相談があれば、まずは相手の気持ちに第一に考えるようにしています。どのような心境であるかわかり耳を傾け、困りごとの背景を理解することで、相談者との信頼関係の構築につながり、より深く困りごとについて聴き取ることができると思っています。



日高町民生児童委員協議会の皆さん、那智勝浦町への視察研修にて

日高町民生児童委員
協議会 会長
山田 千恵美 様

声をかけることでつながりをつくる

民生委員・児童委員は、地域住民の身近な相談相手として、支援を必要とする住民と関係機関をつなぎ、地域の見守りや相談・支援等の活動を行っています。

今回は、日高町民生児童委員協議会の取組について、会長の^{やまだ}山田千恵美^{ちえみ}さんにお話を伺いました。

日高町民生児童委員 協議会事務局

〒649-1213 日高郡日高町大字高家626
日高町役場(住民生活課)
TEL0738-63-3800

日高町民生児童委員協議会の活動は、 どんな特徴がありますか？

日高町には、比井崎地区・志賀地区・内原地区の3つの地区があり、地区によって特徴が異なります。海岸沿いに位置する比井崎地区では、南海トラフ巨大地震に備えて転出する方が増加し、過疎化・高齢化が進んでいることから、主に高齢者の見守りと防災を兼ねた訪問活動を行っています。また、内陸に位置する志賀地区・内原地区は転入者が多く、若い世帯が増えていることから、月に1回の挨拶運動やこどものいる家庭への訪問を行うなど、その地区の特徴に合わせた活動を行っています。

その他、年に1回、全地区の小学校・中学校への学校訪問を行っており、学校からは登下校や休みの日など、先生の目が届かないところでのこどもの見守りをお願いされています。



学校訪問の様子
(志賀小学校)

活動のなかで心掛けていることは？

日頃から、声をかけるということを意識しています。こども達が自転車で遊びに行く姿を見かけた時には、「どこ行く

の？気をつけてな」と声をかけると、最初はこども達から言葉を返してくれなくても、声をかけを続けていると「おばちゃん、ありがとや」と返してくれるようになります。

また、町教育委員会の訪問事業に加わり、令和6年度から主任児童委員が家庭教育支援員として、小学校1・2年生の家庭や中学1年生の家庭への訪問活動を行っています。年2回、2人1組で30～40件の家庭を訪問し、こどもの家庭での状況などを聞き取り教育委員会に報告しており、内容によっては、学校にも連絡が入るという仕組みになっています。この活動によって、保護者の方とも顔見知りになることができます。

このように、日頃から声をかけることで顔を覚えてもらえるようにしており、挨拶をすることでこどもの心のつながりが生まれます。こども達が自分達のことを知ってくれているということは、とても嬉しく思います。

今後の取組について教えてください

まず、「知ってもらう」活動をする必要があると考えています。日高町に転居してきた若い世帯の方々は、民生委員・児童委員の存在を知らない方もいるため、訪問活動をして警戒されることがあります。

そのため、どのような活動をしているかを掲載したチラシを配布するなどして、民生委員・児童委員の存在を知ってもらい、若い世帯の方々の相談先の一つになることを目指していきたいです。

ソーシャルフットボール関西大会2025のご案内

ソーシャルフットボールとは

主に精神障がいのある方が行うフットサルを指します。フットボールを通じて人とつながり、生きがいを創出することを目的とし、年齢・性別・病気や障がいの有無に関わらず、あらゆる違いを越えて1つのチームで取り組んでいます。

大会のご案内 関西No.1を決める大会です。今回、和歌山で初めての大会が開催され、和歌山のチームも出場します。入場は無料!ぜひ一緒に応援しましょう!

日時 10月18日(土)9:00~17:00

場所 海南市総合体育館(海南市大野中1106)

お問合せ先 ソーシャルフットボール関西大会実行委員会事務局

くわしくは
こちら



申込受付中

福祉人材キャリア形成支援研修

研修名	開催日時	会場	受講申込期限
発達障がい児・者処遇研修	10月28日(火) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	10月 7日(火)
介護技術研修【基礎編】	11月 5日(水) 10:25~16:00	紀の国住宅東部コミュニティセンター	10月15日(水)
介護技術研修【応用編】	11月14日(金) 10:25~16:00	紀の国住宅南コミュニティセンター	10月24日(金)
高齢者の権利擁護・虐待防止研修	11月20日(木) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	10月30日(木)
児童の権利擁護・虐待防止研修	12月 4日(木) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	11月13日(木)
障がい者の権利擁護・虐待防止研修	12月11日(木) 10:25~15:30	和歌山ビッグ愛	11月20日(木)
風通しのよい職場づくり研修	12月16日(火) 10:25~16:00	オンライン(Zoom)	11月25日(火)
福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程【チームリーダー編】	令和8年 1月22日(木) 9:55~17:10 1月23日(金) 9:25~16:40	和歌山ビッグ愛	11月21日(金)

※研修の受講には、受講料がかかります。 ※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。 ※定員(先着)になり次第締め切ります。
※感染症や自然災害等の事由によっては、中止になる場合があります。 ※詳細は県社協ホームページをご覧ください。 ※直接お問合せください。

【お問合せ先】県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)TEL073-435-5210



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 保険金		
	入院中の手術	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
賠償責任	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの代替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



～地域の笑顔があふれる場所～
自然かぞく食堂の本格インドカレー

和歌山市の河北コミュニティセンターでは、3か月に1回、「自然かぞく食堂」が開かれています。

主催のギリ・ガネーシュさんの「子どもや親だけでなく、だれもが食事し交流できる場にしたい。」という想いのもと、地域の有志が集まり、食事の提供を行っています。

メインメニューのカレーは具材に和歌山県産の野菜や果物など季節のものを使用。冷凍したものや添加物、動物性油を極力使わず、本場インドのスパイスで仕上げた優しい味のカレーです。

家族やお友だちと一緒にはもちろん、おひとりでも大歓迎。愛情たっぷりのごはんで、お腹も心も満たされていただきます。

- *次回は12月8日（月）開催予定！
- *高校生まで無料・大人500円（先着 約150名）
- *事前予約は右記メールアドレスで受け付けていますが、飛び入り参加もできます！

【お問合せ先・事前予約】
自然かぞく食堂 代表 ギリ・ガネーシュ（インド中央政府公認ヨガマスター）
TEL 090-4282-2925 メール yogasekai@yahoo.co.jp



ぜひ、
お越しください！

ギリ・ガネーシュさん

申込受付中

令和7年度 福祉サービス苦情解決研修会を開催します

福祉サービスの利用にかかる苦情については、事業者が苦情の適切な解決に努めなければならないと社会福祉法第82条に規定されています。

また、各事業所において、苦情解決を通じて福祉サービスの質を向上することは、利用者満足を高める有効な手段になると考えられます。

そのため、現場における苦情対応を想定した技術や心得の習得などを目的に開催します。

日時 10月30日(木) 13:30～16:00
会場 和歌山ビッグ愛 8階801・802会議室
定員 100名

- 参加対象**
- (1) 社会福祉施設・社会福祉事業所で事業者から選任された第三者委員
 - (2) 社会福祉施設・社会福祉事業所の苦情解決責任者、苦情受付担当者、管理者、苦情解決に関わっている方
- 申込締切** 10月14日(火)
先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。
- 参加費** 一人1,000円
- プログラム**
- ◆講師 株式会社ユメコム 代表取締役 ^{はしもと たまみ} 橋本 珠美氏
 - ◆講義「事例から学ぶ苦情対応力研修～徹底した事例研修で応用力を養う」
 - ◆事例検討・演習 グループワークを予定しています。

【お問合せ先】県福祉サービス運営適正化委員会 TEL073-435-5215 FAX073-435-5584

県内2会場で！！

福祉・介護・保育の就職フェアのご案内

和歌山市、新宮市の2会場で、福祉職に特化した就職フェアを開催します。福祉の仕事に興味・関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

第2回

福祉・介護・保育のしごとフェア

日時	11月6日(木) 13:00～15:00(受付12:30～)
会場	丹鶴ホール(新宮市下本町2-2-1)
内容	就職セミナー、個別面談会、相談コーナー 等
お問合せ先	紀南福祉人材バンク(田辺市社協内) TEL0739-26-4918

第2回

福祉・介護・保育の就職フェアわかやま

日時	11月18日(火) 13:00～16:00(受付12:30～)
会場	和歌山ビッグ愛 1階 展示ホール (和歌山市手平2-1-2)
内容	就職セミナー、個別面談会、相談コーナー 等
お問合せ先	県福祉人材センターハートワーク(県社協内) TEL073-435-5211

